

旭日小綬章

歌手

大月みやこさん(71)



「歌った曲は全て大好き」

「思いがけない受章のお知らせをいただいて、恐縮しています。どこかでたくさんの方が見ていてくれたという思いでいっぱい」。艶のある声で語ると、大きな目から涙がこぼれた。

東京五輪で沸いた昭和39年にデビューし、歌手の三橋美智也さんや春日八郎さんの前座として全国を回った。転機は58年。今年2月に亡くなった船村徹さんが作曲した「女の港」で脚光を浴びた。平成4年には「白い海峡」で日

本レコード大賞に輝いた。「歌ってきた曲は全て大好き。それぞれの年代で自分に合う曲をいただけだと思います」

6月でデビューから53年になる。

「大きなことは考えずに今日よりも明日が少しでも良くなればいい、とスタッフが教えてくれた」。2月に新曲「紅ひとり」を発表するなど精力的に活動している。「これからも大月ならではの歌の世界を届けていきたい」

(竹中文)